

日本OSS推進フォーラムにおける クラウド関連活動のご紹介

2011年12月22日

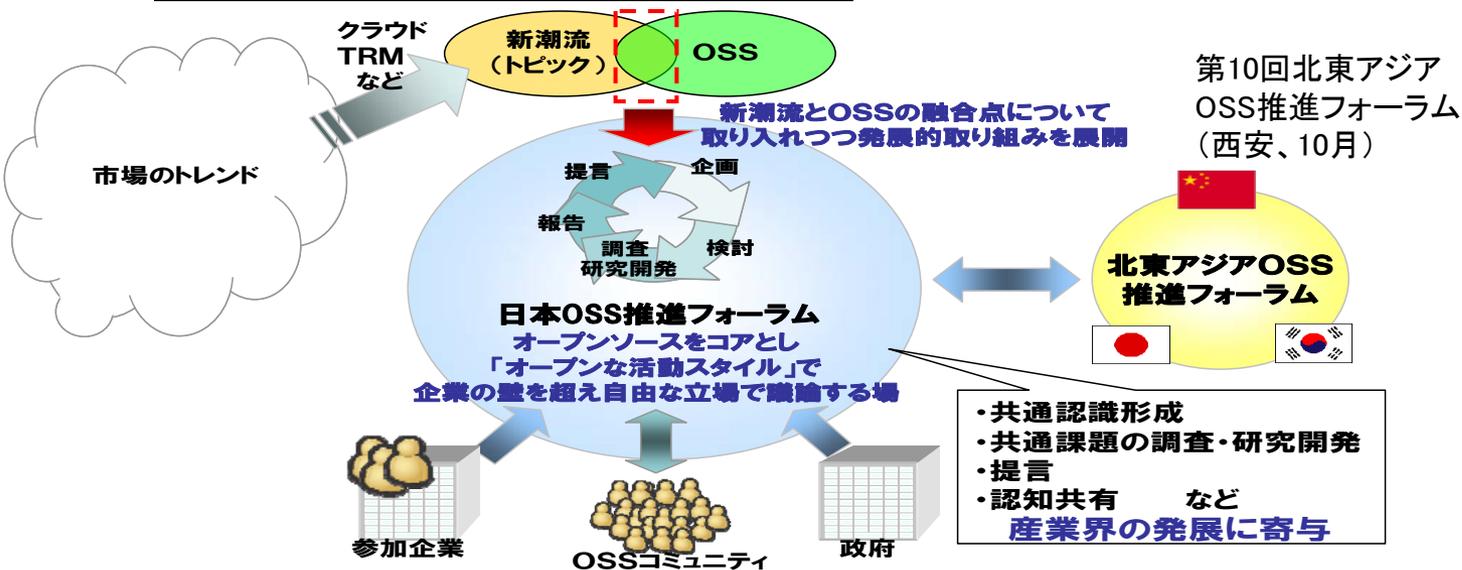
日本OSS推進フォーラム

ステアリング・コミッティ

座長 岩岡泰夫

日本OSS推進フォーラムの活動について

- OSSというソフトウェアパラダイムを活用することによって「独占の弊害の排除と選択肢の拡大」、「技術革新の促進」、「人材育成」を実現し、日本の競争力の強化を図ることを目的に2004年に発足
- OSSを軸に産業界の発展に向けて、企業の壁を超え、企業相互の協調領域の議論を「オープンな活動スタイル」で推進する場として定着
- 市場のトレンドから出現する新潮流とOSSの接点を議論し、共通認識形成・認知共有、政府提言を行なう観点からクラウド・コンピューティングに関する活動を2009年に開始。また、北東アジアOSS推進フォーラムで日中韓での協調について検討を進めている



佐相代表幹事講演



会合風景



クラウド関連活動の狙い

- 経済産業省「クラウドコンピューティングと日本の競争力に関する研究会」報告の具現化（イノベーションの創出、制度整備、基盤整備など）に貢献
- ソーシャルクラウド(社会情報システム)の協調領域である共通基盤を整備し、クラウドサービスの新事業創出に向けた統合環境(クラウドファクトリー構想)の推進
- クラウドコンピューティングに関する政策提言
- 北東アジアOSS推進フォーラムを通じた中国、韓国とのクラウドコンピューティングに関する諸連携の促進

クラウドサービス創出のための統合環境(クラウド・ファクトリー)の構築

ソーシャルクラウド = 個人・地域社会・地球生態系を結ぶ社会情報システム

従来からあるバーチャル世界の情報(コンテンツ、CGM情報)に、リアル世界のストリーム情報、公共系業務システムが持つ実績情報などを加えて、社会のエコ化/高度化を進める情報システム

クラウド・ファクトリー構想



クラウドサービスを創出するためのアプリケーション開発環境、マーケットプレイスを提供する統合環境

【センサー・カメラ】



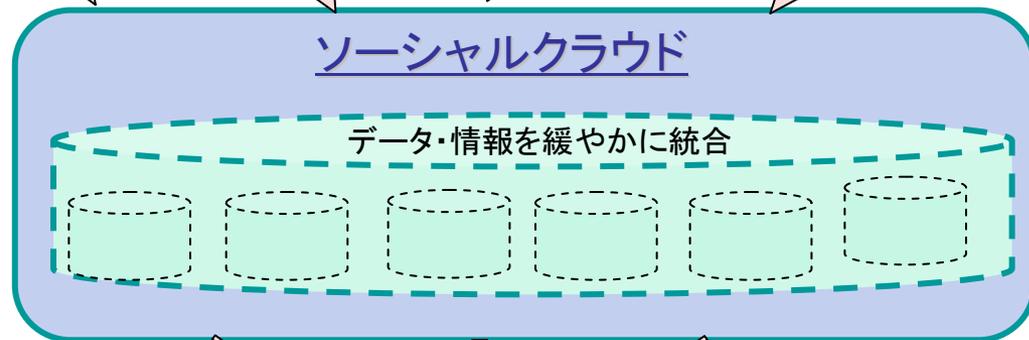
【業務システム】



【SNS】



【Webサイト】



フォーラムの活動体制とクラウド関連作業部会

● 代表幹事: 富士通 佐相副社長

幹事団/顧問団

座長: 岩岡 (NEC)

ステアリング・コミッティ

主査: NEC 岩岡

企画チーム

北東アジアWG1 鈴木 (日立)
北東アジアWG2 三浦 (NTTデータ)

広報サブチーム

主査: 大木 (NEC), 宇佐美 (日本HP)

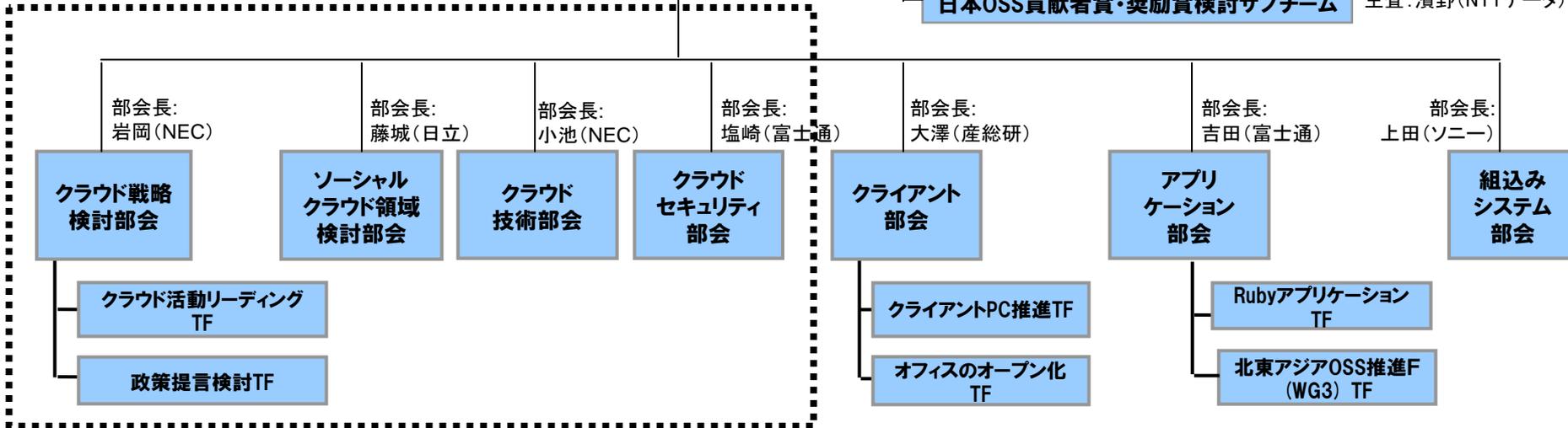
北東アジアモデル事業検討サブチーム

主査: 吉田 (富士通)

日本OSS貢献者賞・奨励賞検討サブチーム

主査: 濱野 (NTTデータ)

クラウド関連作業部会



【オブザーバ】

経済産業省

総務省

【関連団体】

IPA

独立行政法人 情報処理推進機構 (事務局委託先)
INFORMATION TECHNOLOGY PROMOTION AGENCY, JAPAN

JEITA

社団法人 電子情報技術産業協会
Japan Electronics and Information Technology Industries Association

JDCC
日本データセンター協会
Japan Data Center Council

JASA
特定非営利活動法人 日本セキュリティ監査協会
Japan Information Security Audit Association

JISA
社団法人 情報サービス産業協会
Japan Information Technology Services Industry Association

クラウド関連作業部会の活動概要

クラウド技術部会

今年度については経済産業省公募である「23年度ソーシャルクラウド基盤技術に関する調査研究」に協力

クラウド戦略検討部会

政策提言の取り纏めを行なう。特に最近の情報政策である「IT融合による新たな産業の創出」では「重点6分野」と横断的課題である「共通課題5分野」が打ち出されている。

共通課題の一つである「ビッグデータから価値を生み出す基盤の位置づけとなるCPS(Cyber Physical System) に関して、今年度調査事業の成果の発展・活用を含め、提言に向けて検討中

クラウドセキュリティ部会

クラウド環境におけるセキュリティの課題解決・普及、経済産業省、日本セキュリティ協会(JASA)で検討中のガイドラインに対して、実装あるいはテスト手順に関する手引き作成などを検討(第3者が提供するサービスの管理、バックアップ、監査ログなど)中

北東アジアOSS推進フォーラムでクラウドを軸に協調を進める

■ 中国市場で事例を構築、横展開

- OSS適用システムの対象市場調査
(防災、医療、教育など)
日中韓で、対象市場を絞り込み、調査手順を検討
- OSS適用システムのモデル事業実施
市場を定めて、実際のモデル事業を推進、
異なる地域への展開
- 日中韓でのOSS適用システム開発成果の横展開
日中韓以外の国にも、モデル事業の成果を
活かしてアセアンに展開

北東アジアOSS推進フォーラム



Asia OSS Centers Alliance



(ASEAN+α)

まとめ

- **日本OSS推進フォーラムは、OSSの分野で協調領域を探し、活動してきた経験から、クラウド分野での協調領域についても活動の幅を広げた**
- **ソーシャルクラウドのような広い視野での利活用場面を想定し、標準化すべき部分については、今から対応しておくことが、企業のメリットでもあり、ユーザのメリットである、という考えに基づいている**
- **今後、ソーシャルクラウドの協調領域である共通基盤を整備し、イノベーションの創出とエコシステム形成に寄与する基盤としてクラウドファクトリ構想の具現化を目指す**
- **検討状況については、今後共JCCで発表させていただくと共に各WGの成果についても情報共有させていただきたい**

